

## 履 歴 書

2024 年 10 月 15 日 現在

ふりがな	つるだ けんたろうまいける	
氏名	鶴田 健太郎マイケル	
生年月日	2003 年 4 月 16 日生 (満 21 歳)	
		電話番号 (日本)
		070-2319-5293
Email	michaeltsuruda@brandeis.edu	電話番号 (米国)
滞在先住所 (米国)	415 South Street, Waltham, MA, 02453 United States	323-321-4282

年	月	学 歴・職 歴
		学 歴
2019	3	公立 大森第六中学校 卒業
2019	4	私立 武蔵野大学附属千代田高等学院 (国際バカロレア) 入学
2022	3	私立 武蔵野大学附属千代田高等学院 (国際バカロレア) 卒業
2022	4	中央大学国際経営学部国際経営学科 入学
2022	9	中央大学国際経営学部国際経営学科 中途退学 (ブランダイス大学進学のため)
2023	1	ブランダイス大学商学部、コンピューターサイエンス学部 入学
2026	5	ブランダイス大学商学部、コンピューターサイエンス学部 卒業予定
		職 歴
2023	10	ブランダイス大学 日本語プログラム 日本語チューター (アルバイト)
2024	6	株式会社 Ishare 入社 (エクイティアナリストインターン)
2024	7	デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社 入社 (デジタルガバナンスインターン)
2024	7	デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社 退社 (契約満了のため)

年	月	免 許・資 格
2021	5	中国政府公認中国語試験 中国漢語水平考試 (HSK) 3 級
2021	12	TOEFL iBT 99 点
2022	3	国際バカロレア 取得
2023	6	VERSANT 64 点
2023	10	Excel Essential Training (Microsoft 365) (2018) Excel: VLOOKUP and XLOOKUP for Beginners Excel Quick Tips (2020) 取得
2024	1	Bloomberg Market Concept

## 課外活動

＜TAMID at Brandeis（イスラエル系ビジネスサークル）＞（2024 年 1 月 - 現在）ファンドアナリスト

- 投資対象を選定して発表するストックピッチをメンバーに向けてプレゼンした。割引キャッシュフローモデル（DCF）とレバレッジドバイアウトモデル（LBO）を活用し、投資対象の評価を行った。
- 全米 TAMID プライベートエクイティ（PE）大会で 58 チーム中 4 位を収める。SMLR（医療機器メーカー）の買収と戦略的な販売、流通の改善による企業価値向上後の売却案を LBO モデルを用いて評価した。

＜Brandeis Investment Club（ブランダイス大学投資クラブ）＞（2023 年 9 月 - 現在）アナリスト

- 15 名以上のメンバーに対し、レシオ分析、10K や 10Q 等の USGAAP 基準の財務諸表、業界動向、金融市場のファンダメンタルズ分析を用いて投資方法を決定、発表するストックピッチをリードした。
- Microsoft Excel と Bloomberg Terminal を活用し、DCF モデルや割引配当モデル（DDM）などの財務モデルを構築し、理論株価を算出、投資案のプレゼンを行った。
- 投資クラブの 35,000 米ドル相当の投資ポートフォリオ運用をアドバイスした。ストックピッチの分析結果をクラブの役員メンバーにプレゼンし、最適なエントリーやエグジットポイントを提案した。

＜Japanese Student Association（日本文化サークル）＞（2023 年 3 月 - 現在）イベントコーディネーター

- 年 8 回の日本文化に関する文化や教育イベントの企画、運営を指揮した。合計 450 名以上の参加者に本格的な日本食や伝統的なパフォーマンスを提供し、キャンパス内の日本文化普及に努めた。
- 年間 13,000 ドルの予算配分を管理。20 名の E-board メンバーと協同してイベントを開催し、アートチーム、会計係、代表間のコミュニケーションを促進してイベントを開催した。

## 自己PR

私の最大の強みは、強い好奇心に基づいて自ら積極的に新しいことに挑戦し、実践を通して着実に知識とスキルを積み上げていく姿勢である。興味のあった金融について学ぶために中学 2 年生から投資を始めて以来、大学でビジネスの専攻、課外活動で投資サークルやビジネスサークル TAMID での活動といったインプットと、株式アナリストとして 2024 年 6 月からインターンをアウトプットの場として活用することで金融の知識を深めてきた。その結果、TAMID の PE 大会で 4 位という華々しい功績や、インターン先で 1200 万人の投資家にレポートを提供することを通して、投資家が十分な情報で意思決定に貢献できるように手助けた。

好奇心から 2017 年に米ドルを外貨預金口座で取引したことから金融に対して興味を持ち、現在では投資対象を広げて日本株、他外国通貨、さらに仮想通貨を含めたポートフォリオの運用をしている。現在では決算資料やチャートとレシオの分析、そして NISA 口座の活用による戦略的なポートフォリオ管理により 60%超の含み益と年 6%の配当を生み出し、21%以上の CAGR、シャープレシオは 2.49 と市場の平均リターンを大幅に超える成果を出すことに成功している。

この個人的な投資の経験から私はより深くファイナンスについて学びたいと思い、ブランダイス大学ではビジネスを専攻し、さらに投資クラブとビジネスサークルの TAMID に入会した。投資クラブではアナリストとしてストックピッチを毎週行い、投資対象の選定や財務諸表の分析、さらに DCF や DDM といった企業評価モデルを Excel やブルームバーグターミナルを他メンバーとともに役割分担をして作成した。チーム一丸となってプレゼンを作成したあと全メンバーの前で発表し、発表した株の一部はクラブの部長が管理する 35,000 ドルのポートフォリオに組み込まれた。

TAMID では 2024 年度の春学期末に行われた PE グループプロジェクトにて SMLR(医療機器メーカー)を買収、非公開化したのち販売、流通の問題を解決して企業価値を上げたうえで売却するという投資計画を LBO を用いて発表し、この功績が認められてファイナリストに選定され、最終的に TAMID の PE プロジェクト大会で総合 4 位という結果を納めた。

さらに、大学での課外活動に加えて Ishare でのインターンで実務経験を通して、実践的な金融の分析力を大きく向上させた。インターン先では 15 社以上の多様なセクターに渡る企業の決諸表や説明会を詳細に分析し、DCF などの財務分析モデルを Excel で構築、更新した。また、市場動向や投資判断に重要な影響を与える核心的な情報をレポートにまとめた。これにより、機関投資家や個人投資家が信頼性の高い情報を用いて投資判断を決定する貢献をした。

私は強い好奇心から積極的に新しいことに挑戦し続け、実践を積み重ねることで確実にファイナンスの知識とスキルを身につけてきた。私は今までの経験から、積極的にチャレンジをしてこそ成長できると考えており、挑戦の結果自分を最大限成長させ、結果が出るということにも繋がることを学んだ。

趣味：筋トレ、水泳、ウィンタースポーツ（スキー、アイススケート）、航空機運転、クッキング

課外活動：Japanese Student Association, TAMID, Brandeis Investment Club